

一 般 質 問 発 言 通 告 書

議席番号 17 番

氏名 永見 利久

答弁を求める者

(○をつける)

市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長

会委員長

農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員

発言項目及び要旨

1、防災対策について

3 月定例会議の一般質問で、災害に強いまちづくりについて質問し、災害発生時の初動対策、避難所の物資確保、運営体制などについて伺った。

令和 6 年能登半島地震で、多くの学校が被災したものの大きな被害はなく、避難所として使用されており、改めて耐震化対策の重要性を感じたところである。

学校施設や公共施設の避難所でも、断水・停電の日々が続き、トイレ不足などが報道された。避難所生活に対する市の対応策について質問する。

(1)避難所の支援対策について

- ① 浜田全域で、指定避難所は 88 カ所あると伺っている。その内指定避難所として使用される学校もあると思うが、避難期間が長くなった場合の市としての対応について考えを伺う。
- ② 上下水道の破損は、避難所の衛生状況にも影響が出る。生活用水の確保についての対策を伺う。
- ③ 同じくトイレについての対策について伺う。
- ④ 避難所が停電した場合の生活環境対策について伺う。
- ⑤ 平時での、食料品や生活用品等の災害備蓄品の管理状況について伺う。

2、過疎化対策と農地活用について

全国で、空き家が過去最多、900 万戸を超える状況にあるとの報道もあった。浜田市中心地も、周辺部の中山間地域においても、空き家が増加している。併せて一人住まいの世帯も増加し町内会の運営にも支障を来している。人口減少で、後継者もない農家も多くなっており、後 5 年くらいでさらに急増すると、地域の方々の会話にもよ

く出てくる。浜田市においては、農業法人化を進め、農地維持に努めておられるが、その法人の中でも高齢化が進み運営の厳しい状況の組織もある。省力化が進み、若い人たちにも収入が期待できる、魅力ある農業にすることが、農業法人化、後継者の確保に繋がるのではとの思いで、以下の質問をする。

(1) 過疎対策について

- ① 令和 4 年から空き家調査をされているが、市内中心部、周辺部の中山間地域、それぞれの空き家の現状について伺う。
- ② 各地域の空き家対策について伺う。
- ③ 人口減少や高齢化は、集落の町内会の運営にも影響が出ているが、集落再生について、市としての考えを伺う。
- ④ 見守り移動販売支援事業は、高齢者世帯の買い物困難者の安定した日常生活の実現や安否確認を目的として取り組まれているが、その状況について伺う。
- ⑤ 今後のさらなる支援策について伺う。

(2) 農地活用について

施政方針では、中山間地域の農家の高齢化、担い手不足が顕著なため、将来にわたり地域農業を維持するために「地域計画」を策定し、集落ぐるみでの農業生産活動や農地保全の普及、将来的な担い手確保に取り組むとされている。

- ① 地域農業を維持するための「地域計画」の内容について伺う。
- ② 農業法人化を取り巻く状況は厳しいと伺っている。その対応策について伺う。
- ③ 農地維持活動の今後の支援策について伺う。
- ④ 農家の後継者対策についての市の考えを伺う。